

第一中学校 学校経営方針

1 生徒の学習意欲を喚起し、学ぶ充実感を味わわせる授業づくり

つなぐ

いかに生徒の思考をつなぐことができるか

- 知識の理解の質を高め、生徒一人ひとりに**確かな学力**を身につけさせる。
- 学び合い・教え合う場面を計画的に設定し、**対話的な学習集団**を作るとともに**共感的な人間関係を育む**ような支持的風土を醸成する。
- ねらいやゴールを明確にして、知識・技能の「習得」と思考力・判断力・表現力を育成する「活用」と課題を発見し追究する「探求」のバランスを工夫した授業を全職員で追求し実践する。
- 面談やたより等を通して、家庭との連携を図り、**家庭学習習慣の確立**に努める。

2 生徒理解に基づいた迅速かつ丁寧な生徒指導・生徒支援

気づく

いかに生徒の変化に気づくことができるか

- 『第一中学校生徒指導マスタープラン』に基づき、すべての職員が、**人権意識**を基本にカウンセリングマインドとリーガルマインドを併せ持った職員集団になる。
- 職員の「生徒理解力」「情報収集力」を高め、**予防的生徒指導**を実践する。
- 生徒の「社会性」や「道徳性」を高め、自己肯定感を持ち、**共感的人間関係**が集団の中で構築できるよう**体験活動の充実**を図るとともに**振り返り**を重視する。
- 教育相談の充実**を図り、いじめや問題行動等の早期発見・早期対応に努める。
- 両小学校との継続支援・指導が円滑に進められるよう**連携を一層強化**する。
- 個々の生徒に対する支援の方向性等について、職員会議や日常の情報交換を通じて共通理解をより綿密に図るとともに、**インクルーシブ教育**に関する校内研修を一層充実させ、校内のユニバーサルデザイン化を推進する。

3 PTA・地域・同窓会との連携

築きあげる

いかに信頼関係を築きあげることができるか

- 保護者・地域・外部機関との**双方向の交流・連携**を図り、学校からの情報発信に積極的に努めるとともに、地域の教育力・資源を有効活用する。
- 全教職員・全校生徒が、創立79年の伝統を継承していく姿勢をもって、「**チーム一中**」の意識を学校全体で醸成する。
- 地域行事等への参加、学校行事への地域の方々の招待等をより推進するとともに、地域の一員として、**貢献**することの大切さを学び、**自己有用感**を味わわせる。